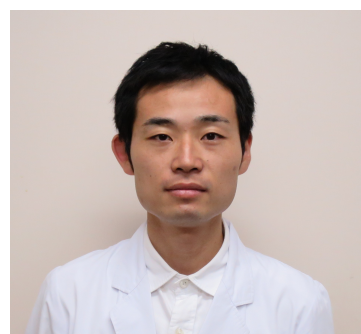


第20回 統合病理学教室セミナー

まる よしあき

演者 **丸 喜明 先生**

千葉県がんセンター研究所
精密腫瘍モデル研究室 室長



演題

オルガノイド培養を駆使した婦人科がん研究

2026年8月21日(金)17:00～

北大医学部 中棟 セミナー室 3-1

要旨

婦人科がんには悪性度や遺伝子異常、起源細胞などが異なる様々な組織型が存在するが、現行の標準治療ではがん種ごとにほぼ同じ治療法が採用されているため、治療抵抗性や再発が問題となっている。発がんの分子機構やがんの本態解明、治療法を開発するための疾患モデルとして近年多くのがんでオルガノイドが注目され、様々な分野の研究で導入が進んだが、婦人科がん領域では遅れていた。そこで我々は、婦人科がん領域へオルガノイド培養技術を導入し、発がん機構解明のためのマウス由来正常オルガノイド用いたハイブリッド型発がんモデル開発、精密医療の実装や治療抵抗性機構解明に資する患者由来オルガノイドを用いた橋渡し研究、などに取り組んでいる。従来の平面培養に比べ生理的な条件で細胞を維持可能なオルガノイド技術は婦人科がんの様々な研究を加速することが期待される。本発表では、我々のこれまでの成果を紹介するとともにその可能性についても議論したい。

参考文献:

1. Maru et al. *Hum Cell*. 37; 840-853, 2024
2. Maru et al. *J Pathol*. 255; 177-189, 2021
3. Maru et al. *Oncogenesis*. 10; 46, 2021
4. Maru et al. *Gynecol Oncol*. 154; 189-198, 2019

責任者: 統合病理学教室 谷口 浩二 (内線5050)

E-mail: path1@med.hokudai.ac.jp